

第2期安城市まち・ひと・しごと創生総合戦略成果指標一覧

資料2

健幸プロジェクト1 ひとづくり ～健康で幸せに暮らし続ける～

■数値目標 指標	策定時の値	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度	実績 2023年度	目標値 2023年度	評価	備考	担当課
1 健康であると感じている人の割合	64.3% (2019年度)	—	79.0%	—	83.1%	75%	達成	健康に関するイベントや教室、講演会などを継続して実施しました。また、健(検)診や予防接種はもとより、高度な医療が受けられる地域医療体制の整備と、かかりつけ制による身近な医療や相談体制について啓発を行いました。	健康推進課
■重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度	実績 2023年度	目標値 2023年度	評価	備考	担当課
2 1日に30分以上歩く人の割合	53.0% (2019年度)	—	50.6%	—	61.3%	54%	達成	コロナ禍で外出の機会が減少していたと考えられるが、運動のきっかけとなる教室等は規模を縮小して継続して実施しました。また、健康の道によるウォーキングの普及や健康マイレージなど、個人で取り組める健康づくりについて啓発しました。	健康推進課
3 この地域で子育てをしたいと思う親の割合	97.2% (2018年度)	97.3%	97.6%	97.1%	—	97.5%	未達成 (後退)	目標未達成についての要因は不明ですが、地区を担当する保健師を定め、妊娠期から出産・子育て期までの伴走型相談支援を行っています。	健康推進課
4 授業は楽しく分かりやすいと答える児童生徒の割合	83.1% (2018年度)	85.0%	85.4%	85.4%	—	90%	未達成 (向上)	目標未達成となっておりますが、各校では、個別最適な学びと協働的な学びの往還を意識した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践に取り組んでいます。	学校教育課
5 子育て中の人の仕事がしやすい環境が整っていると思う人の割合	36.6% (2019年度)	—	39.2%	—	40.3%	40%	達成	病児・病後児保育の環境整備、民間保育所の誘致、児童クラブの学年拡大などの着実に実施してきた施策が、市民の皆様の子育て環境の改善につながった結果であると考えます。	健幸=SDGs課

健幸プロジェクト2 しごとづくり ～新しい時代の流れを力にし、安定した雇用を維持する～

■数値目標指標		策定時の値	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度	実績 2023年度	目標値 2023年度	評価	備考	担当課
6	全産業の従業者数 (経済センサス)	106,789人 (2016年度)	—	107,931人	—	—	109,000人	未達成 (向上)	社会情勢の変化に対応した企業支援、就労支援を行いましたが、輸送用機械製造業の従業者数が大きく減少しており、コロナ禍等に起因する世界的な自動車需要の低迷による影響が大きかったものと考えます。	健幸=SDGs課

■重要業績評価指標 (KPI)		策定時の値	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度	実績 2023年度	目標値 2023年度	評価	備考	担当課
7	製造品出荷額等 (工業統計調査)	2兆1099億円 (2017年度)	1兆9321億円	—	—	—	2兆4700億円	未達成 (後退)	2019年度に目標値に迫る数値まで順調に向上したものの、2020年度は大きく減少する結果となっています。工業用地の確保や企業の設備投資に対する支援強化に取り組みましたが、コロナ禍等に起因する世界的な自動車需要の低迷による影響が大きかったものと考えます。	健幸=SDGs課
8	創業者数 (単年度)	159人 (2018年度)	262人	237人	220人	—	190人	達成	ワンストップ相談や、各種補助事業、創業支援融資、創業スクールの実施により目標を達成したと考えています。	商工課
9	農地の利用権設定率	60.3% (2018年度)	62.8%	64.5%	65.3%	—	66%	未達成 (向上)	農地中間管理事業による農地の利用集積・集約が図られており、最終年度には達成する見込みです。	農務課
10	中心市街地歩行者通行量	3,912人 (2018年度)	3,047人	3,278人	3,949人	—	4,100人	未達成 (向上)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等の影響により通行量が減少していたが回復をみせており、増加傾向にあります。	商工課

健幸プロジェクト3 まちづくり ～みんなで作る住みたい、住みつけたいまち～

■数値目標 指標	策定時の値	実績	実績	実績	実績	目標値 2023年度	評価	備考	担当課
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度				
11 安城市を住みよいと感じる人の割合	92.3% (2019年度)	—	91.6%	—	93.8%	93%	達成	性別・年代を問わずに9割以上の市民が「住みよい」と回答していることから、第8次総合計画のもとで推進してきた「市民一人ひとりの幸せの実感」に取り組む健幸(ケンサチ)のまちづくりの効果が現れたものと考えます。	健幸=SDGs課
■重要業績評価指標 (KPI)	策定時の値	実績 2020年度	実績 2021年度	実績 2022年度	実績 2023年度	目標値 2023年度	評価	備考	担当課
12 中心市街地拠点施設を核として実施される、様々な団体との協働・連携による企画実施数	1,919企画/年 (2018年度)	1,425企画/年	2,261企画/年	2,451企画/年	—	2,000企画/年 (2023年度以降)	達成	感染対策等の徹底により、イベントが開催できるようになり、数値は徐々に回復し、目標を達成することができました。	アンフォーレ課
13 新設住宅戸数 (住宅着工統計)	1,863戸/年 (2018年度)	1,044戸/年	1,201戸/年	1,371戸/年	—	1,800戸/年 (人口増を維持)	未達成 (後退)	土地区画整理事業による良好な宅地供給等に取り組みましたが、消費増税やコロナ禍、資材高騰等に起因する消費低迷の影響が大きかったものと考えます。	健幸=SDGs課
14 歴史・文化に愛着や誇りを感じる市民の割合	38.3% (2019年度)	—	42.9%	—	43.5%	46%	未達成 (向上)	各施策が市民の愛着や誇りといった感情を醸成するには時間を要しますが、ようやく向上の兆しが見えてきたと考えています。 歴史博物館展示事業 5回・39,356人、文化財啓発事業(出前講座)44回・3,410人、市民ギャラリー企画展事業・芸術文化事業 27,340人	文化振興課